

# 木材ノ吸濕膨脹試験(第三回報告)

技師 森三郎

本試験ハ林業試験報告第二十三號ニ公表シタル木材吸濕膨脹試験ニ續キテ樹種ヲ替ヘ同一方法ニ依リ施行シタルモノナリ

## 一、供試材及試験方法

供試樹種ハほほのき、どがさはら、こはのはうちはかへで、ぶな、しらかし及たぶノ六種ニシテ何レモ氣乾狀態ニ在ル材片ヨリ材質一様ナル部分ヲ選ミ角面五瓣ノ方柱ヲ二方柱ニ木取り更ニ之ヨリ高サ一瓣ノ方盤ヲ一樹種ニ就キ三十箇ツツ製作シ各試験材片ニ就テ氣乾時ノ重量、幅(年輪ニ並行スル二邊ノ長サノ平均)及長サ(年輪ニ直角ナル二邊ノ長サノ平均)ヲ測定シ然ル後各樹種トモ其ノ内ノ十箇ハ三十分間蒸煮シ又他ノ十箇ハ蒸餾水一・五立内ニ於テ四十五分間煮沸シ残リ十個ノ無處理材片ト共ニ空氣乾燥器内ニ入レ攝氏百度以下ノ溫度ニ於テ乾燥シ時々秤量シテ略減量ヲ見サルニ至リ更ニ攝氏百五度ニ溫度ヲ高メ重量ノ變化ナキヲ認メタルトキ絕對乾燥ニ達セシモノト看做シテ其ノ時ノ重量及寸法ヲ氣乾時同様ノ方法ニ依リ測定シ之ヲ絕對乾燥時ノ重量及寸法トナセリ斯クシテ以上ノ測定ヲ了シタルモノハ直ニ之ヲ飽濕セル器中ニ入レ吸濕セシメタリ、飽濕器ハデシケーター中に蒸餾水ヲ入レ其ノ中ニ「フォルマリン」ノ少量ヲ盛リタル皿ヲ浮ヘテ

菌ノ發生ヲ防キ其ノ上方ニ銅線ヲ以テ作レル枠ヲ入レ枠ノ間ニ各試験材片ノ角面ヲ側方トシテ一段ニ十五箇ツツ上下二段ニ並ヘ「デシケータ」中ニ一樹種即チ三十箇ノ材片ヲ收メ之ヲ密封シ總計六箇ノ「デシケータ」ヲ四季溫度ノ變化少キ當場構内地下室ニ藏置セリ

吸濕量ノ測定ハ試験材ヲ飽濕器ニ入レタル時ヨリ一日、二日、四日、六日、十日ヲ經タル後ニ、十日以後五十二日目マテハ一週間ヲ經過スル毎ニ又其ノ以後ハ二週間毎ニ各者ノ重量ヲ測定シ五百七十日ヲ經過シタルニ各材片ハ殆ト吸濕セサルニ至リシヲ以テ飽濕セシモノト看做シ試験ヲ終了セリ(大正十年十二月十二日測定開始、同十二年七月五日終了)、但シ重量ハ總テ一瓦ノ百分ノ一又寸法ハ一粡ノ二百分ノーマテ精密ニ之ヲ測定セリ

斯ノ如クシテ測定シタル重量ト絕對乾燥時ノ重量トノ差ヲ以テ吸濕量トシ其ノ吸濕量ノ絕對乾燥重量ニ對スル百分率ヲ以テ吸濕率トナシ又飽濕時ニ於ケル試験材ノ寸法ヲ測定シ絕對乾燥時ノ寸法トノ差ヲ求メ其ノ差ノ絕對乾燥時ノ寸法ニ對スル百分率ヲ膨脹率トナセリ

## 二、試験成績

前項ノ方法ニ依リ調査シタル試験ノ成績ヲ表示スレハ第一表及第二表ノ如シ









三十	吸湿量(瓦)	11·14	11·15	11·16	11·17	E·1K	E·1K	E·1K	E·1K	E·0M	E·1K	M·40	M·40	M·40
百四	吸湿率(%)	IR·E1	IR·E2	IR·E3	IR·E4	IR·E5	IR·E6	IR·E7	IR·E8	IR·E9	IR·E10	IR·E11	IR·E12	IR·E13
七日														
三十一	吸湿量(瓦)	11·18	11·19	11·20	11·21	E·1K	E·1K	E·1K	E·1K	E·0M	E·1K	M·40	M·40	M·40
百八	吸湿率(%)	IR·E1	IR·E2	IR·E3	IR·E4	IR·E5	IR·E6	IR·E7	IR·E8	IR·E9	IR·E10	IR·E11	IR·E12	IR·E13
八日														
四二	吸湿量(瓦)	11·22	11·23	11·24	11·25	E·1K	E·1K	E·1K	E·1K	E·0M	E·1K	M·40	M·40	M·40
百〇	吸湿率(%)	IR·E1	IR·E2	IR·E3	IR·E4	IR·E5	IR·E6	IR·E7	IR·E8	IR·E9	IR·E10	IR·E11	IR·E12	IR·E13
〇日														
四六	吸湿量(瓦)	11·26	11·27	11·28	11·29	E·1K	E·1K	E·1K	E·1K	E·0M	E·1K	M·40	M·40	M·40
百十	吸湿率(%)	IR·E1	IR·E2	IR·E3	IR·E4	IR·E5	IR·E6	IR·E7	IR·E8	IR·E9	IR·E10	IR·E11	IR·E12	IR·E13
四十	吸湿量(瓦)	11·30	11·31	11·32	11·33	E·10	E·10	E·10	E·10	E·0M	E·10	M·40	M·40	M·40
百三	吸湿率(%)	IR·E1	IR·E2	IR·E3	IR·E4	IR·E5	IR·E6	IR·E7	IR·E8	IR·E9	IR·E10	IR·E11	IR·E12	IR·E13
三日														
四十	吸湿量(瓦)	11·34	11·35	11·36	11·37	E·10	E·10	E·10	E·10	E·0M	E·10	M·40	M·40	M·40
百四	吸湿率(%)	IR·E1	IR·E2	IR·E3	IR·E4	IR·E5	IR·E6	IR·E7	IR·E8	IR·E9	IR·E10	IR·E11	IR·E12	IR·E13
四日														
四十	吸湿量(瓦)	11·38	11·39	11·40	11·41	E·10	E·10	E·10	E·10	E·0M	E·10	M·40	M·40	M·40
百四	吸湿率(%)	IR·E1	IR·E2	IR·E3	IR·E4	IR·E5	IR·E6	IR·E7	IR·E8	IR·E9	IR·E10	IR·E11	IR·E12	IR·E13
四日														
四十	吸湿量(瓦)	11·42	11·43	11·44	11·45	E·10	E·10	E·10	E·10	E·0M	E·10	M·40	M·40	M·40
百五	吸湿率(%)	IR·E1	IR·E2	IR·E3	IR·E4	IR·E5	IR·E6	IR·E7	IR·E8	IR·E9	IR·E10	IR·E11	IR·E12	IR·E13
五日														
四十	吸湿量(瓦)	11·48	11·49	11·50	11·51	E·10	E·10	E·10	E·10	E·0M	E·10	M·40	M·40	M·40
百二	吸湿率(%)	IR·E1	IR·E2	IR·E3	IR·E4	IR·E5	IR·E6	IR·E7	IR·E8	IR·E9	IR·E10	IR·E11	IR·E12	IR·E13
七日														
四十	吸湿量(瓦)	11·54	11·55	11·56	11·57	E·10	E·10	E·10	E·10	E·0M	E·10	M·40	M·40	M·40
百二	吸湿率(%)	IR·E1	IR·E2	IR·E3	IR·E4	IR·E5	IR·E6	IR·E7	IR·E8	IR·E9	IR·E10	IR·E11	IR·E12	IR·E13
七日														
四十	吸湿量(瓦)	11·60	11·61	11·62	11·63	E·10	E·10	E·10	E·10	E·0M	E·10	M·40	M·40	M·40
百六	吸湿率(%)	IR·E1	IR·E2	IR·E3	IR·E4	IR·E5	IR·E6	IR·E7	IR·E8	IR·E9	IR·E10	IR·E11	IR·E12	IR·E13
八日														

樹種	ほのき	とがさはら	かはのはうちは	ぶ	な	しらかし	た	ぶ
處理別	蒸	煮	蒸	煮	蒸	煮	蒸	蒸
絶重量(瓦)	10・01	10・011	10・11	10・111	10・111	10・111	一六・二三	一五・全
							一四・三三	一四・三三
							一三・四三	一三・四三
							一六・〇九	一六・〇九
							一六・〇〇	一六・〇〇
							一六・〇三	一六・〇三
							五・八九	五・八九
							一五・三四	一五・三四
							一四・四九	一四・四九

(第二表)

率脹膨		飽 濕 時		時 乾	
長	幅	法 尺	寸	法 尺	寸
(%)(%)	(%)(%)	長 (耗)	幅 (耗)	重 量 (瓦)	長 (耗)
六・九三	一・七七	二・六六	二・一六	四・八一	四・七一
六・九六	一・八一	二・五九	二・一三	四・八二	四・七六
六・九九	一・九九	二・五二	二・一三	四・八三	四・七五
七・〇三	一・九九	二・四九	二・一三	四・八四	四・七四
七・〇六	一・九九	二・四六	二・一三	四・八五	四・七三
七・〇九	一・九九	二・四三	二・一三	四・八六	四・七二
七・一三	一・九九	二・三九	二・一三	四・八七	四・七一
七・一六	一・九九	二・三六	二・一三	四・八八	四・七〇
七・一九	一・九九	二・三三	二・一三	四・八九	四・六九
七・二三	一・九九	二・三〇	二・一三	四・九〇	四・六八
七・二六	一・九九	二・二七	二・一三	四・九一	四・六七
七・二九	一・九九	二・二四	二・一三	四・九二	四・六六
七・三三	一・九九	二・二一	二・一三	四・九三	四・六五
七・三六	一・九九	二・一八	二・一三	四・九四	四・六四
七・三九	一・九九	二・一五	二・一三	四・九五	四・六三
七・四三	一・九九	二・一二	二・一三	四・九六	四・六二
七・四六	一・九九	二・一九	二・一三	四・九七	四・六一
七・四九	一・九九	二・一六	二・一三	四・九八	四・六〇
七・五三	一・九九	二・一三	二・一三	四・九九	四・五九
七・五六	一・九九	二・一〇	二・一三	五・〇〇	四・五八
七・五九	一・九九	二・一七	二・一三	五・〇一	四・五七
七・六三	一・九九	二・一四	二・一三	五・〇二	四・五六
七・六六	一・九九	二・一一	二・一三	五・〇三	四・五五
七・六九	一・九九	二・一八	二・一三	五・〇四	四・五四
七・七三	一・九九	二・一五	二・一三	五・〇五	四・五三
七・七六	一・九九	二・一二	二・一三	五・〇六	四・五二
七・七九	一・九九	二・一九	二・一三	五・〇七	四・五一
七・八三	一・九九	二・一六	二・一三	五・〇八	四・五〇
七・八六	一・九九	二・一三	二・一三	五・〇九	四・四五
七・八九	一・九九	二・一〇	二・一三	五・一〇	四・四九
七・九三	一・九九	二・一七	二・一三	五・一一	四・四八
七・九六	一・九九	二・一四	二・一三	五・一二	四・四七
七・九九	一・九九	二・一一	二・一三	五・一三	四・四六
八・〇三	一・九九	二・一八	二・一三	五・一四	四・四五
八・〇六	一・九九	二・一五	二・一三	五・一五	四・四四
八・〇九	一・九九	二・一二	二・一三	五・一六	四・四三
八・一三	一・九九	二・一九	二・一三	五・一七	四・四二
八・一六	一・九九	二・一六	二・一三	五・一八	四・四一
八・一九	一・九九	二・一三	二・一三	五・一九	四・四〇
八・二三	一・九九	二・一〇	二・一三	五・一〇	四・三九
八・二六	一・九九	二・一七	二・一三	五・一一	四・三八
八・二九	一・九九	二・一四	二・一三	五・一二	四・三七
八・三三	一・九九	二・一一	二・一三	五・一三	四・三六
八・三六	一・九九	二・一八	二・一三	五・一四	四・三五
八・三九	一・九九	二・一五	二・一三	五・一五	四・三四
八・四三	一・九九	二・一二	二・一三	五・一六	四・三三
八・四六	一・九九	二・一九	二・一三	五・一七	四・三二
八・四九	一・九九	二・一六	二・一三	五・一八	四・三一
八・五三	一・九九	二・一三	二・一三	五・一九	四・三〇
八・五六	一・九九	二・一〇	二・一三	五・一〇	四・二九
八・五九	一・九九	二・一七	二・一三	五・一一	四・二八
八・六三	一・九九	二・一四	二・一三	五・一二	四・二七
八・六六	一・九九	二・一一	二・一三	五・一二	四・二六

### 三、試験成績ノ摘要

本試験ノ成績ハ前ニ掲タル第一及第二表ニ示スカ如クニシテ今其ノ概要ヲ左ニ記述スヘン  
(イ)樹種ト吸濕量トノ關係 今左表ニ依リ前記三種ノ處理法ニヨレル各樹種ノ吸濕量ヲ其ノ平均數ニ就テ比較スルニ大體ニ於テハ第一及第二回試験ト同シク處理法ノ如何ヲ問ハス氣乾時ノ

#### (一) 吸濕量

比重大ナル樹種ハ吸濕量亦概シテ大ナリ然レトモ比重ノ差異互ニ小ナルニ樹種ほほのきト  
がさはらぶなトたぶ、又こはのはうちはかへでトしらかし等ノ比較ニ於テハ吸濕量ハ強チ比重  
ニ比例セサルカ如シ

處理法	比重及吸濕量		樹種
	比重	吸濕量	
蒸煮	比重量(百倍)	四六・七	ほほのき
蒸煮	飽濕時ニ於ケル吸濕量(瓦)	二・六八	とがさはら
沸	比重(百倍)	四六・四	はがねうら
無處理	飽濕時ニ於ケル吸濕量(瓦)	二・六四	ふな
	比重量(百倍)	四六・三	しらかし
	飽濕時ニ於ケル吸濕量(瓦)	二・一七	たぶ
	二・五〇	七五・七	
	四六・八	六八・〇	
	二・五	七六・六	
	四六・六	七二・〇	
	二・二三	三・七三	
	四六・六		
	七五・六		
	四六・七		
	四〇五		
	七六・八		
	四四七		
	六六・八		
	三四四		

(ロ) 處理法ト吸濕量トノ關係 各樹種每ニ處理法ヲ異ニスル場合ノ吸濕量ニ就テ見ルニ前表ニ依

リ明ナルカ如ク第一及第二回試験ニ於ケルト同様ニ何レノ樹種モ其ノ差著シカラス又大小ノ

順位モ一定セス

(ハ) 吸濕ノ経過 各測定時ノ吸濕量ニ就テ見ルニ之亦第一及第二回試験ニ於ケルカ如ク試験開始

ヨリ凡ソ十七日間ハ吸濕ノ速度大ニシテ樹種ニ依ル吸濕量ノ多少ノ順位ハ此ノ期間ニ於テ明ニ定マリ其レ以降ハ吸濕速度漸次減少シ百五十日目ヲ超ユレハ殆ト飽濕狀態トナリ其ノ速度極メテ遲緩トナル(第一表參照)

(イ) (二) 吸濕率

樹種ト吸濕率トノ關係 吸濕率ハ第一及第二回試験ニ於ケルト同シク各樹種トモ略同一ニシテ著シキ差異ヲ認メス從テ其ノ大小ノ順位モ一定セス今十七日、百五十日及五百七十日目ニ於

ケル各樹種ノ吸濕率ノ平均數(%)ヲ各處理法毎ニ表示スレハ左ノ如シ

測定日	樹種		處理別	ほほのき	とがさはら	かはのはうちは	ぶな	しらかし	たぶ
	無蒸煮	蒸煮							
十七日	無蒸煮	蒸煮	無處理	一七・〇三	一五・〇六	一四・七八	一五・八三	一四・七五	一四・一八
百五十日	無蒸煮	蒸煮	沸煮	一四・八六	一五・三〇	一六・二〇	一五・四一	一五・八九	一三・九八
五百七十日	無蒸煮	蒸煮	沸煮	二三・七三	一九・五一	二二・八七	二三・二六	二二・五九	一九・八二
	二三・五三	一九・七八	二三・一四	二一・八四	一九・四四	二四・一二	二三・七三	二二・六九	二〇・九八
	二一・六三	二三・三三	二六・六九	二四・七六	二三・六七	二三・四四	二三・四四	二一・五〇	一〇・五〇
	二六・三四	二六・七六	二七・〇三	二八・八八	二八・五五	二七・一九	二四・〇〇	二三・七六	二四・〇〇
	二四・七六	二六・七六	二七・〇三	二九・五〇	二八・六七	二六・一九	二四・〇〇	二七・九〇	二四・〇〇

(ロ) 處理法ト吸濕率トノ關係

前表ニ於テ各樹種ニ就テ處理法ヲ異ニスル毎ニ吸濕率ヲ比較スル

ニ何レノ樹種ニ於テモ其ノ差著シカラス又其ノ大小ノ順位モ一定セス

(三) 吸濕ト膨脹

樹種ト膨脹率トノ關係 膨脹率ノ大小ヲ各樹種無處理材ニ就テ比較スレハ左表ニ示ス如クニ

シテ其ノ大ナルモノヨリ掲クレハこはのはうちはかへでぶなしらかしたぶほほのきとがさはらノ順序ニシテ板目ニ於ケル膨脹率ハ査目ニ於ケルモノノ約一倍半乃至二倍半ナリ

樹種	ほほのき	とがさはら	かほのはうちはでは	ぶな	しらかした	ぶ
膨脹率 板目ニ於ケルモノ (%)	六・五三	二・五五	一一・七三	一〇・二二	九・八八	六・八四
査目ニ於ケルモノ (%)	四・〇三	一・四九	五・二九	四・四七	四・三四	四・一二

(口) 處理法ト膨脹率トノ關係 第二表ニ就テ見ルニ各樹種ヲ通シ概ネ蒸煮シタルモノノ膨脹率最少ク煮沸材之ニ亞キ無處理材最大ナリ

(ハ) 吸濕量及比重ト膨脹率トノ關係 膨脹率ト氣乾時ノ比重トノ關係ヲ見ルニ比重小ナルモノハ概シテ膨脹率亦小ナリ從テ吸濕量小ナルモノハ概ネ膨脹率小ニシテ第一及第二回試驗ニ於ケルト同様ナリ今各樹種ニ就キ處理法ノ別ナク比重、吸濕量及膨脹率ヲ平均スレハ左表ノ如シ

種別	樹種	ほほのき	とがさはら	かほのはうちはでは	ぶな	しらかした	ぶ
査目	板	四・六・六	四・六・四	七・五・一	六・六・四	七・六・七	七・〇・七
吸濕量(%)	飽濕時ノ吸濕量(%)	二・六一	二・二六	四・四二	四・〇九	四・三四	三・六六
氣乾比重(百倍)	氣乾比重(百倍)	三・七九	二・六四	一〇・七七	九・八三	九・二一	六・五三
査目	板	六・二七	一・六二	五・〇一	四・二二	三・九五	四・一〇